

# 平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等状況調査

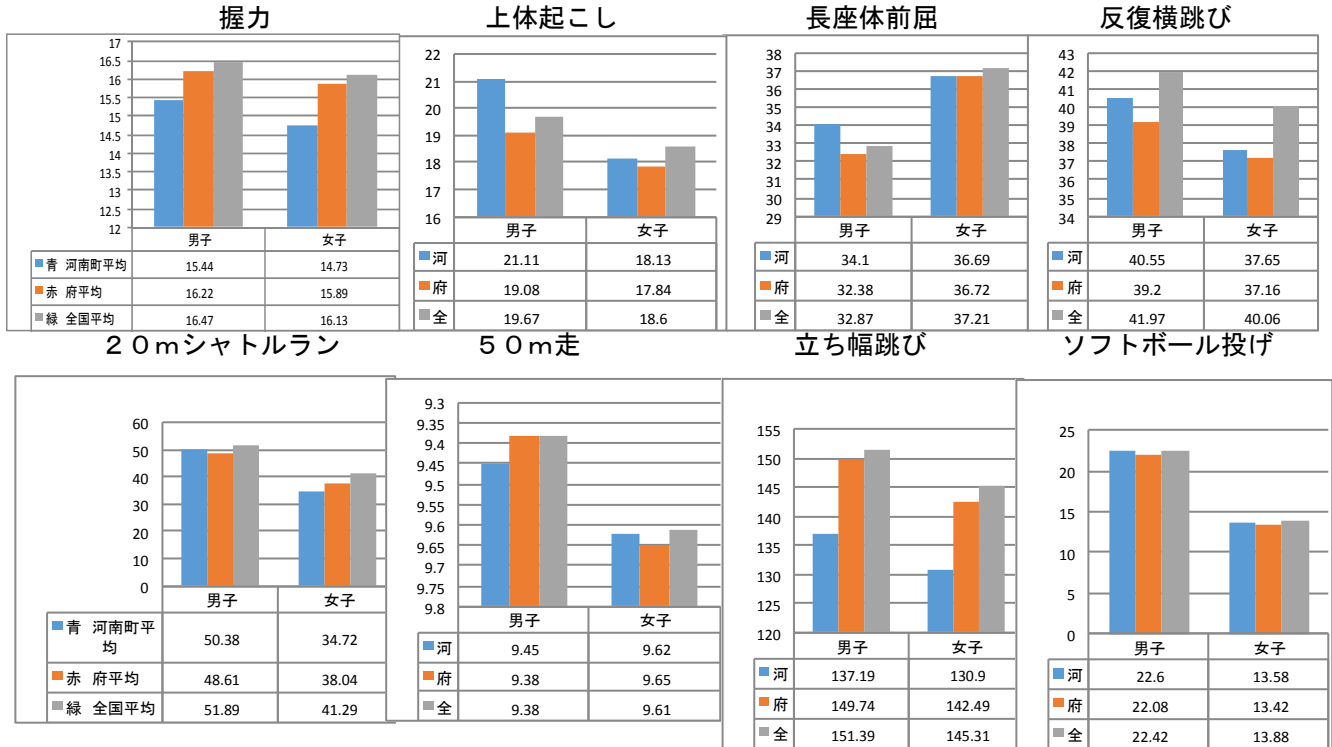
## ～ 河南町立小・中学校の結果の概要 ～

この調査の目的は、全国小学5年生、中学2年生の児童生徒の体力・運動能力の状況を把握し、課題の検証を通して改善に生かすためのものです。

### 1. 調査結果の取り扱いについて

- (1) この調査は、序列化や競争を目的とするものではありません。
- (2) この調査で測定できる体力・運動能力は、特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面です。

平成28年度全国体力・運動能力状況調査 小学校 平均値



### 2. 小・中学校の調査結果の概要

#### 【体力・運動能力に関して】

##### (1) 小学校

河南町内児童の体力・運動能力は、平均を下回っていると思われます。

男子児童は、上体起こし（筋持続力）や長座体前屈（柔軟性）が優れています。一方、握力（筋力）、立ち幅跳び（跳能力）に課題が見られました。

女子児童は、上体起こし（筋持続力）や長座体前屈（柔軟性）、50m走（瞬発力）やソフトボール投げ（瞬発力）が全国平均値に近づいていますが、握力（筋力）、反復横跳び（敏しょう性）、立ち幅跳び（跳能力）に課題が見られます。

##### (2) 中学校

※中学校は、ソフトボール投げの代わりにハンドボール投げを、20mシャトルランか1500m持久走のどちらかを選択します。（町立中学校は1500m持久走を実施）町内では1校ですので体力・運動能力の数値は公表しません。

河南町内生徒の体力・運動能力は、やや平均を下回っていると思われます。

男子生徒は、持久走（全身持久力）や50m走（瞬発力・疾走能力）が優れています。一方、立ち幅跳び（跳能力）、ハンドボール投げ（投能力）に課題が見られました。

女子生徒は、立ち幅跳び（跳能力）やハンドボール投げ（投能力）が全国平均値よりやや下回りました。

男女共に、立ち幅跳び、ハンドボール投げに関係のある瞬発力の向上が必要だと思われます。

#### 【運動習慣に関して】

運動習慣調査（児童生徒アンケート）から、河南町の児童生徒は以下の傾向が見られました。

- ・体育の授業において、助けあう・話し合う活動が保障されている。
- ・体育の授業において、先生や友だちに教えられて、技等が出来るようになった。
- ・体育の授業以外で運動やスポーツをする時間が60分未満の児童が多い。

### 3. 課題解決のために

- ・子どもたちの体力・運動能力が高まる魅力ある授業に取り組みます。
  - ・体力、運動能力育成のために、休日等の運動の工夫など、学校と家庭が連携して子どもたちへアドバイスしていきます。
  - ・学校全体で、子どもたちの体力向上に向けての取り組みを計画的に行い、成果を検証していきます。
- ※日々の教育活動実施にあたり、今後とも保護者、地域の方々のご理解・ご協力をいただきながら取り組んでまいります。

担当課：河南町教育委員会事務局 教・育部 教育課学校教育係